

四日市西警察署協議会議事録

令和7年度第3回四日市西警察署協議会	
日時 場所	令和8年2月19日（木）午後2時～午後3時30分 四日市西警察署3階会議室
出席者	1 警察署協議会 6名 内田久美委員、後藤和広委員、千種久美委員、 中里侑暉委員、樋口悦子委員、森守和委員 2 警察署 8名 署長、副署長、会計課長、生活安全課長、地域課長、 刑事課長、交通課長、警備係長
傍聴者数	なし
公開・非公開の別	公開
議 事 概 要	
<p>1 警察署長挨拶</p> <p>2 現場対応訓練の視察</p> <p>3 生活道路における自動車の法定速度の引下げについて（令和8年9月1日施行、改正道路交通法）</p> <p>4 管内治安情勢（警察署長）</p> <p>（1）刑法犯認知状況</p> <p>（2）特殊詐欺等認知状況</p> <p>（3）少年非行状況</p> <p>（4）交通事故発生状況</p> <p>（5）山岳事故発生状況</p> <p>5 協議内容</p> <p>（1）山岳遭難等について</p> <p>＜委員＞ 山岳警備隊の自主訓練や交通部隊、山岳警備隊の合同出発式等、広報啓発に注力していただき、有り難く思っている。登山者が行方不明になり、レスキューポイントが明確に分からない場合、他県警及び近隣の警察署との連携や事前の取決めはどのようになっているか。</p> <p>【地域課長】 110番通報受理時は多少の誤差は生じるが、位置情報が出力される。三重県警察と滋賀県警察の110番取扱い部署が情報共有を行い、発生場所を管轄する警察署に指令を出す。事前の取決めは行っていないが、発生時は消防と連携して救助を行うため、救助に係る情報は消防とも共有している。</p> <p>【署長】 防災ヘリも、遭難場所が他県であっても連携を取り、救助に向かう。</p> <p>＜委員＞ 昨年は熊の目撃・被害情報が多く報道され、登山者が減少していると承知しているが、管内の情勢について伺いたい。</p> <p>【地域課長】 これまで、当署管内で熊の目撃情報はない。</p> <p>なお、県内の熊の目撃情報と登山者数の増減の因果関係について、当方では把握していない。登山時は、熊避け（鈴等）を持ち、各自治体のウェブサイト等で事前に目撃情報を確認していただきたい。</p>	

(2) 実弾が発射可能な玩具の拳銃について

<委員> 管内で実弾が発射可能な「玩具の拳銃」を回収した実績はあるか。

【署長】 現段階では、公表することはできない。

<委員> 実弾が発射可能な玩具の拳銃を所持し、銃刀法違反に該当する場合について伺いたい。

【署長】 違法拳銃としての認識や、拳銃を所持している状況等を調べる必要がある。

(3) 放置自転車等について

<委員> 学校の付近で放置自転車を発見した場合の措置について伺いたい。

【地域課長】 現場を直接確認する必要があるため、当署に通報願いたい。

なお、受理時に以降の措置について説明（依頼）をさせてもらう。

<委員> 中学生の不良グループが高校生に絡んでいると聞いたが、管内の受理状況について伺いたい。

【生活安全課長】 質問に係る受理はない。

ただし、粗暴行為を行う少年はSNS上でつながる傾向がある。

(4) 窃盗犯対策について

<委員> 屋外ではどのようなものが盗まれやすいか。また、その対策について伺いたい。

【刑事課長】 屋外盗は、特定の物品に限らず、様々な物品が対象となる。具体的な対策として、夜間不在となる事務所等は電灯を点灯したままにする。夜間の侵入者に反応するセンサーライトを設置する等がある。

(5) 自動車の法定速度について

<委員> 今後、生活道路における法定速度の引下げが予定されているが、今後の広報実施予定等について伺いたい。

【交通課長】 管内の学校や企業に対し、交通安全講話や紙媒体による広報活動を行い、周知する予定である。

<委員> 小中学生を対象に、自転車の交通ルールについて指導していただきたい。

【交通課長】 学校を対象とした取組として、校庭等に模擬現場を設定し、実際の自動車や自転車を用いて、スタントマンによる交通事故再現を行う。また、「スケアード・ストレイト」という見学型の交通安全教育手法があるので、学校に紹介を行う。

6 警察署長謝辞

備 考	報道機関 1 社 1 名
-----	--------------